

社会資本整備重点計画の骨子案

社会資本整備事業を効果的かつ効率的に実施するための措置

社会資本整備事業の実施に関する重点目標及びその達成のため効果的かつ効率的に実施すべき社会資本整備事業の概要

- 1 暮らし～生活空間充実等を通じた豊かな生活の実現
- 2 安全～防災の高度化の推進と交通安全対策の強化
- 3 環境～地球環境から身近な生活環境までの保全・創造
- 4 活力～都市再生や地域連携、観光振興等を通じた、魅力と活力にあふれる経済社会の形成

その他社会資本整備事業の重点的、効果的かつ効率的な実施に関し必要な事項

骨子案としてここに記載している内容は、現時点におけるものであり、今後の検討の過程で変更することがあります。

社会資本整備事業を効果的かつ効率的に実施するための措置

以下の項目について記載することが必要か。

- (1) 事業評価の厳格な実施
- (2) 技術開発等を通じたコストの縮減
- (3) 地域住民等の理解と協力の確保
- (4) 事業相互間の連携の確保
- (5) 既存の社会資本の有効活用
- (6) 公共工事の入札及び契約の改善
- (7) 事業の迅速化
- (8) 民間活力の活用

社会資本整備事業の実施に関する重点目標及びその達成のため効果的かつ効率的に実施すべき社会資本整備事業の概要

1 暮らし～生活空間の充実等を通じた豊かな生活の実現

(1) 少子・高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成等

《重点目標》

すべての人々、特に高齢者や障害者等にとって、生活空間の移動がしやすく、暮らしやすいバリアフリー社会の形成、子育てしやすい社会の実現を図る。

《指標のイメージ例》

- ・ 1日の平均利用者数が5,000人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路、住宅等のバリアフリー化の割合 【 % (H14) % (H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 公共交通機関、公共空間や住宅、建築物のバリアフリー化を推進する。
- ・ 子供から高齢者までの健康運動の場及び遊び場となる公園等を身近な場所に整備する。
- ・ 土砂災害対策により高齢者等が安全に暮らせる生活の実現を図る。

(2) 良質な水資源の確保と水・緑豊かで美しい都市生活空間等の形成

《重点目標》

良質な水資源の確保によりきれいな水、おいしい水を安定的に供給し、汚水を適正に処理するとともに、水と緑豊かで美しい都市生活空間等を形成する。

《指標のイメージ例》

- ・ 汚水処理施設整備率 【 % (H14) % (H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 水道水源域等における下水道整備を推進する。
- ・ 水道水源となっている河川、ダム等における水質浄化対策を推進する。
- ・ 河川流量の確保のためのダム建設を進める。
- ・ 適切な役割分担の下で下水道を整備する。
- ・ 都市等における親水空間の確保を図る。
- ・ 都市等において、公園・緑地を確保し、その他の公共空間等の緑化を推進する。
- ・ 快適な道路空間を整備する。

2 安全～防災の高度化の推進と交通安全対策の強化

(1) 都市型災害の被害軽減、災害弱者の安全性確保等のための水害等の災害に強い国土づくり

《重点目標》

都市型災害対策や災害弱者への対応等に重点を置いて、水害、土砂災害（土石流・地すべり・がけ崩れ）、津波・高潮、雪害、火山噴火災害等の災害から国土の保全を図り、社会経済活動を支え、生命・財産・生活の安全性を確保する。

《指標のイメージ例》

- ・ 近年、床上浸水を生じた地域において床上浸水からの安全性が確保されていない戸数
【 万戸(H14) 万戸(H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 災害弱者等に配慮するとともに、事業連携を進めつつ、災害を防止する施設を整備する。
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定の推進による土砂災害危険箇所の増加抑制
- ・ ハザードマップの作成を支援する。
- ・ 災害に関する情報をリアルタイムで提供するための必要な施設を整備する。

(2) 大規模な地震、火災に強い国土づくり

《重点目標》

大規模な地震や火災から、生命・財産・生活の安全性と社会経済活動を確保するとともに、発生時の避難施設、支援活動を確保する。

《指標のイメージ例》

- ・ 地震時等において大規模な火災の可能性があり重点的に改善すべき密集市街地のうち最低限の安全性が確保される市街地の割合・面積
【 %、 ha(H14) %、 ha(H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 防災施設、基幹施設等の耐震化を進める。
- ・ 地震時等に大規模な火災の可能性があり重点的に改善すべき密集市街地において道路、公園等の整備と連携した密集市街地対策を推進する。
- ・ 避難地・避難路や災害復旧活動・被災者の支援活動を確保するための施設を整備する。

(3) 総合的な交通安全対策等の強化

《重点の目標》

陸・海・空の交通に関する安全を確保し、事故等の未然防止と被害軽減を図る。

《指標のイメージ例》

- ・ 道路交通における死傷事故率 【 件 / 億台キロ(H14) 件 / 億台キロ(H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 交通安全施設等道路交通環境の整備を進めるとともに、鉄軌道交通に係る安全対策を実施する。
- ・ 海上交通に係る安全対策を実施する。
- ・ 航空交通に係る安全対策を実施する。
- ・ テロ等を防止するための保安対策を実施する。
- ・ 交通基盤を効率的に維持・保全する。

3 環境～地球環境から身近な生活環境までの保全・創造

(1) 地球環境の保全

《重点目標》

地球環境問題の中でも、特に、地球温暖化の防止を図る。

《指標のイメージ例》

CO₂排出量の削減

【検討中】

《事業の概要のイメージ例》

- ・公共交通機関の利用を促進する。
- ・鉄道貨物輸送や海上貨物輸送へのモーダルシフト、物流の効率化を推進する。
- ・環状道路の整備、信号制御の高度化等の渋滞対策等を推進する。
- ・信号灯器のLED化を推進する。
- ・都市緑化等によるCO₂吸収源対策を推進する。
- ・下水道事業によるN₂O排出抑制対策を推進する。

(2) 都市の大気汚染及び騒音等に係る生活環境の改善

《重点目標》

都市部における交通に由来する大気汚染や騒音等による生活環境への影響の改善を図る。

《指標のイメージ例》

NO₂・SPMの環境目標達成率

【%(H14) %(H19)】

《事業の概要のイメージ例》

- ・公共交通機関の利用を促進する。
- ・鉄道貨物輸送や海上貨物輸送へのモーダルシフト、物流の効率化を推進する。
- ・環状道路の整備、信号制御の高度化等の渋滞対策等を推進する。
- ・エコエアポートを推進する。

(3) 循環型社会の形成

《重点目標》

廃棄物の排出抑制、循環的な利用（再使用、再生利用、熱回収）の推進、建設発生土の有効利用の推進とともに、循環的な利用のできない廃棄物等の適正処理・処分など環境負荷の低減を目指す循環型社会の形成を図る。

《指標のイメージ例》

循環資源国内輸送コスト低減

【H14 年度比 割削減(H19)】

《事業の概要のイメージ例》

- ・再資源化施設への搬送推進、リサイクル・静脈物流関連施設の整備、再生資材の利用促進等を進める。
- ・リサイクル出来ない廃棄物等を適正に処分する廃棄物埋立護岸を整備する。

(4) 良好な自然環境の保全・再生や良好な水環境への改善

《重点目標》

生態系に配慮した豊かで美しい自然環境の保全、再生及び創造を図るとともに、良好な水質、健全な水量等を有する水環境への改善を図る。

《指標のイメージ例》

・下水道水環境保全率

【 % (H14) % (H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・湿地、干潟等の生物生息空間の保全、再生、創造に資する施設を整備する。
- ・都市における樹林地等自然環境の保全・再生・創出に資するとともに環境学習を行う場の整備を推進する。
- ・魚類の生息環境改善に資する魚道の整備、施設改良を推進する。
- ・公共用水域の水質等改善を進める。
- ・河川流量の確保のためのダム建設を進める。

4 活力～都市再生や地域連携、観光振興等を通じた、魅力と活力にあふれる経済社会の形成

(1) 国際的な水準の交通サービスの確保及び国際競争力と魅力の向上

《重点目標》

国際的な水準の交通サービスを確保し、国際的な人・物・情報の移動を促進して、我が国の国際競争力と魅力の創造を図る

《指標のイメージ例》

- ・ 国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率 【H14年比 %減(H19)】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 国際ゲートウェイ機能の強化を推進する。
- ・ 都市交通基盤の整備及び交通機関間の連携強化を推進する。

(2) 国内幹線交通のモビリティの向上

《重点目標》

人や物の広域的な移動・交流の拡大、効率化を図る。

《指標のイメージ例》

- ・ 国内航空サービス提供レベル 【 億座席キロメートル(H14) 億座席キロメートル(H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 広域ブロック間の交流を促進する幹線交通体系の整備を推進する。
- ・ 幹線交通体系の機能の強化に資する施設の整備等を推進する。

(3) 都市交通の快適性、利便性の向上

《重点目標》

都市における交通渋滞・混雑を緩和し、円滑な交通を確保するほか、利用しやすい機能を備えた快適で魅力ある都市生活空間等を形成する。

《指標のイメージ例》

- ・ 道路渋滞による損失金額 【 兆円(H14) 兆円(H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 都市における環状道路の整備、信号制御の高度化等の渋滞対策等、道路と鉄道の連

携・整備や公共交通機関の利用の促進等を進める。

(4) 観光交流等内外の交流を通じた地域や経済の活性化

《重点目標》

観光交流をはじめ、国内外の交流を促進し、地域や経済の活性化を図る。

《指標のイメージ例》

- ・ 日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合 【 %(H14) %(H19) 】

《事業の概要のイメージ例》

- ・ 観光交流拠点の整備を推進する。
- ・ 魅力ある地域空間の整備を推進する。
- ・ 地域間交流や観光交流を支える交通の確保を図る。

その他社会資本整備事業の重点的、効果的かつ効率的な実施に関し必要な事項

「事業分野ごとに事業の重点的、効果的かつ効率的な実施に向けた取組み」や「事業の概要」を明示

その他、地域ごとの事業の重点的、効果的かつ効率的な実施に向けた取組みの記述の必要性を検討